

南郷高通信

〒989-4204 宮城県遠田郡美里町大柳字天神原 7 番地
Mail : nango-h@od.myswan.ed.jp



令和2年度 第3号
発行：令和2年5月27日
宮城県南郷高等学校

TEL:0229-58-1122
FAX:0229-58-1123

学校生活を送る上での「新しい生活様式」について

5月14日に新型コロナウイルス感染拡大防止のための非常事態宣言が解除され、本校では18日から学年ごとの分散登校が始まりました。生徒の皆さんは、久しぶりの登校ということになりましたが、毎日規則正しい生活を送ることができているでしょうか。6月からの本格的な授業再開に向けて、新型コロナウイルスの感染予防対策をより一層徹底してもらいたいと思います。

～1年生登校時の様子～

分散登校の初日である18日には、新1年生のオリエンテーションが行われました。生徒たちは体育館に間隔を開けた状態で整列し、学校生活に関する説明を受けました。匹田校長先生からは、政府より公表された新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する「新しい生活様式」についてお話がありました。「今までの学校生活とは異なる内容がたくさんあるが、お互いに気をつけながら生活してもらいたい。もし、不安に感じる人がいる場合は、いつでも先生たちに相談して下さい。」という校長先生の言葉を真剣に聴く様子が見られました。

校長先生による
「新しい生活様式」への注意喚起



農業科の早坂先生から
マリーゴールドの説明を聞く生徒たち

初めての学年集会では、学年主任の石川先生をはじめとする様々な先生方から学校の規則等について説明を受けました。生徒にとっては入学式以来の登校日となりましたが、今後の学校生活をどのように過ごしたら良いかを一人ひとり考える良い機会になったのではないかと思います。

学年集会の後は、校舎内外の見学を行いました。広い敷地内には農業に関する施設が多く、生徒にとって初めて見る植物も多かったのではないかと思います。生徒が見学した校外の様子については、今月号の裏面でも紹介しております。

さて、校長先生のお話にも出てきた「新しい生活様式」に関して、学校向けの「新しい生活様式」について下に掲載しました。生徒の皆さんは、登校した際にお互いを思いやる気持ちを持って実践していきましょう。

- ①身体的距離を確保すること（1m程度の机の間隔、集会時の人との間隔は1～2m、真正面を避けた人との会話など）。
- ②マスクを着用すること（校内では常にマスク着用、咳エチケットの徹底など）。
- ③手洗いを行うこと（まめな手洗い、丁寧な手指の消毒など）。
- ④その他（公共交通機関での控えめな会話、横並びに座っての昼食、ペットボトルの回し飲みの禁止、こまめな教室の換気、登校前の体温測定と健康チェックなど）。

なお、一斉メールで発信しておりますとおり、保護者の皆様にはご家庭における「感染予防対策」を引き続きお願いすることになりますのでよろしくお願い致します。

- (1) 規則正しい生活を心がけ、毎朝の検温を実施してください。
- (2) 風邪の症状(発熱・咳・のどの痛み・頭痛・鼻水等)や息苦しさなどがある場合は、学校に連絡してください。なお、風邪の症状が続く場合や息苦しさ・強い倦怠感や高熱などの強い症状が出た場合は、「帰国者・接触者相談センター（022-211-3883）または(022-211-2882)に連絡してください。
- (3) 不要不急の外出をしないように心がけてください。
- (4) 臨時休校中に取り組んだ課題を大切に保管し、しっかりと復習等を行ってください。課題の取り込み状況は評価され、各教科の成績・単位の参考にされます。
※保護者の皆様にも、お子様の様子を把握していただきますようお願い申し上げます。

6月の主な予定 (○の中の数字は○校時を示す) ※5月19日現在の予定です。

- 1日 (月) 服装頭髪検査, 衣替え
- 4日 (木) 生徒会入会式・部活動紹介⑥
- 10日 (水) マナーアップ運動 (~12日)
- 11日 (木) 進路ガイダンス(3年)⑤⑥
- 18日 (木) 農ク総会・校内意見発表会⑤, 防災訓練⑥

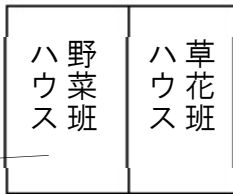
※日程未定の行事 (日程が決まり次第, 学校のホームページ等でお知らせします)
 生徒総会(延期), 1期考査(7月下旬実施予定), 芸術鑑賞会及びPTA会員研修(秋頃に延期)

5月に入ってから, 本校の敷地内では新緑の香りが感じられるようになりました。本校の特色の一つである農場は, 主に産業技術科の生徒が実習を行う場となっています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため生徒が自宅学習を行っている間も, 様々な植物たちが日々成長を続けていました。今号では, 臨時休業中に産業技術科の教職員を中心として整備を進めてきた様子を紹介します。

野菜のハウスではキュウリが収穫され始めています。黄色い花には雌しべと雄しべがあるそうですが…

よく見てみると, 花びらの下からキュウリの小さな膨らみが!

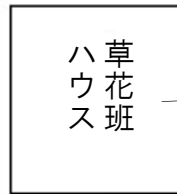
これが雌しべの特徴だそうです。産業技術科の生徒は授業を通してこのようなことを学ぶ予定です。



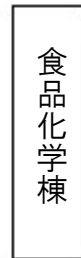
新緑の季節には, 校門から木々のトンネルが続きます。全校生徒がこの木漏れ日の中を登校する日が待ち遠しいですね。風が吹く度に葉の擦れ合う音が聞こえてきます。



校門



5月中旬に花の苗を運びました。例年生徒が行う作業ですが, 臨時休業中のため, 今年度は教職員で行いました。これは「ペチュニア」の苗です。

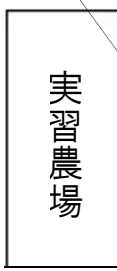


昇降口を出て, 農場へと続く道を歩いて行くと一面の「シバザクラ」が! 濃ピンク色の絨毯のようです。

農場には 90 周年を控えた南郷高校を象徴する木造の建物が風情を漂わせています。



時計の下には「ローダンセマム」が咲いています。これは昨年度から植えられたもので, この春初めて花を咲かせました。やや濃淡のあるピンク色の花びらがかわいらしいお花です。生徒の皆さんも, 校内では初めて見かける花かもしれません。



今月の礼譲和協

学校長より

学校田の田植えは多くの職員の協力の下、無事終了することができました。敷地内の木々の葉は淡い薄緑色から深い緑へと変化し、緑の大地からは生命力あふれる植物が一斉に成長を始め、環境整備に汗する日々が多くなりました。景観的には初夏の色使いを感じ、美しく落ち着きさえ感じる学校環境ではありますが、その景観維持には大変な労力があり、陰で支えてくださる職員に「感謝」するしかありません。本当にありがとうございます。

「キーン コーン カーン コーン・・・」

「おはよう!」「おはようございます!」

「体温計ったが?」・・・

ようやく学校らしい一日を感じる事ができました。



5月14日 宮城県の緊急事態宣言解除後の南郷高校は5月18日より、学年単位・午前授業で、分散登校が始まりました。朝の検温確認から始まり、教室では密集・密接・密閉の3密を回避するため、マスクの着用、窓を開けての換気、机の配置を広げる工夫、さらに手洗い、食事のマナー、そして校舎内の消毒等、感染予防に意識を高めた「新しい生活様式」を校内で取り組み始めました。新型コロナの感染リスクをゼロにならないことを受け入れつつ、感染レベルを可能な限り低減させながら学校教育活動を継続して参ります。同時に、感染が確認された場合の対応について周知徹底し、感染者や濃厚接触者確認された場合、差別や偏見、いじめ誹謗中傷などの対象にならないよう十分な配慮と注意を呼びかけ、大切な生徒の命と安全、そして信頼を育みながら学校生活を進めて参ります。

生徒・保護者をはじめ、地域の方々のご理解とご協力も必要となりますのでよろしくお願いいたします。